

# 森のコーヒー勉強会◆スピンオフ企画 4人のスペシャリストと巡るエチオピア 原生林と伝説のコーヒートレイル

オンラインツアーとは、自宅にいながら旅行気分が味わえるオンライン体験です。  
本ツアーは、現地事情に詳しい4人のスペシャリストが、おすすめの場所を画像や動画を  
使いながら行います。コーヒー発祥の地にまつわる伝説の森を訪ね、発祥地ならではの  
のコーヒーの楽しみ方を知る、魅力いっぱいのオンラインツアーです。

10月25日(日) 14:00-15:45 (入室 13:45~)

## オンラインツアースケジュール

14:00-14:10	集合・出発!	添乗員: 伊藤 茉莉	成田-仁川-アディスアベバ (787-8 Dreamliner)
14:10-14:25	ジンマの森 	案内人: 吉倉 利英	ジンマ市内散策、野生のコーヒーが育つ ベレテ・ゲラの森、農家訪問
14:25-14:40	ボンガの森 	案内人: 平山 絵梨	マキラ村マザーツリー、蜂蜜農家、市場訪問
14:40-14:55	コーヒースタイル 		
14:55-15:10	バハルダールの森 	案内人: 白鳥 清志	タナ湖、ゼゲ半島コーヒーの森、教会アート、 ウラキダネ修道院訪問
15:10-15:25	アディスアベバ 	案内人: 白鳥くるみ	観光スポット案内、カフェ巡り、エチオピア 式コーヒーの楽しみ方の紹介
15:25-15:45	旅のまとめと質問 解散		参加者感想・質問コーナー ※案内先が変更になる可能性があります。ご了承ください。

## ルートマップ



JIMMA



BONGA



ADDIS ABABA



BAHAR DAR

## 詳細・お申込みはこちら

オプション

## オンラインツアー参加者限定! お値打ち価格!

- 商品: 「森のコーヒーとはちみつ3種セット」
- 内容: ・森のコーヒー (Ethiopia Forest Coffee) 200g  
(浅煎・中煎・豆・粉選択可能)  
・はちみつ3種各30g (ゲラ・リム・シャカ)
- 価格: ¥2800 (消費税+送料+代引き手数料込)
- お支払い方法: 代引き (代金引換) のみ
- お申込み方法: Eメール: [food\\_g@african-sq.co.jp](mailto:food_g@african-sq.co.jp)宛に  
住所・氏名・電話番号・ご希望のコーヒーの種類、  
希望着日時を入れて、直接ご注文ください。
- 協力企業: 有限会社アフリカンスクエア  
URL: <https://www.african-sq.co.jp/>

- 募集人数: 50名 (申し込み順)
- オンラインツアー代金: ¥1,000
- お申込みサイト:  
<https://forms.gle/yE3b4WvoimeG4DD9>
- お問い合わせ: [events@africa-rikai.net](mailto:events@africa-rikai.net)  
FAX: 03-3758-5665
- 主催: アフリカ理解プロジェクト <http://africa-rikai.net>
- 協力: アフリカンスクエア、エチオピア航空、道祖神

## JAPAN

### JAPAN → ETHIOPIA

日本からエチオピアのバーチャルツアーへ出発！  
今回のルートは実際に行く約1週間かかる工程ですが、なんと！2時間でご案内します！バーチャルだからの盛り沢山の内容です。

#### 伊藤 茉莉

元青年海外協力隊エチオピア隊員  
& 元アフリカ専門旅行会社勤務。  
旅行会社在职中にエチオピアの  
コーヒーツアーを添乗。隊員時代に、あるおばあちゃんが淹れてくれたコーヒーで、エチオピアコーヒーの虜に・・・！



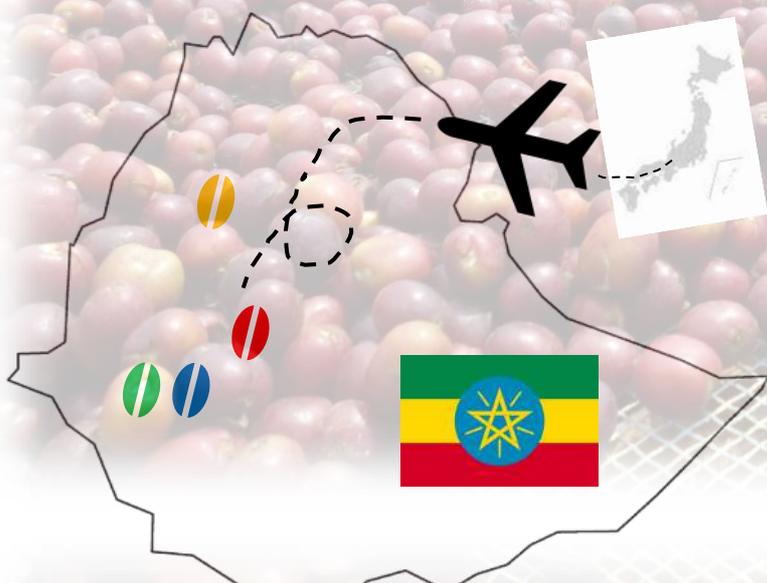
## JIMMA

### ADDIS ABABA → JIMMA

コーヒーの原生林ベレテ・ゲラの森やジンマ市内をご案内します。コーヒーの収穫、天日干しなど伝統的な作業と農家の暮らしぶりに注目！

#### 吉倉 利英

JICA専門家として約7年、エチオピアでの森林保全の事業に従事。その間、ジンマに住みながらコーヒーの原生林にある様々な村を廻る。ダニに悩まされながらも、その伝統的な暮らしにはいつも新たな発見があり、冒険心をくすぐります！コーヒーもおいしいですが、村周りの疲れた身体には、村で淹れてくれる甘いシャイ（お茶も）最高です。



## BONGA

### JIMMA → BONGA

伝説のマキラ村へ徒歩で移動。この地には原種コーヒーが生育する広大な森があり、地元民が「マザーツリー」と呼ぶご神木があります。蜂蜜農家や市場をご案内！

#### 平山 絵梨

元青年海外協力隊エチオピア隊員。  
小規模コーヒー農家と養蜂家が生産するコーヒー、蜂蜜の販路開拓を支援すべく、2年間ボンガで暮らす。原生林から摘み取られるコーヒーは勿論の事、蜂蜜採取など、森の産物の背景にあるストーリーに魅了される。



## ADDIS ABABA

### BAHAR DAR → ADDIS ABABA

エチオピア(人口:1億922万人)の首都。アムハラ語で「新しい花」という意味。アディスアベバの観光スポット巡り、街のおすすめカフェとエチオピアならではのメニューをご紹介します！

#### 白鳥 くるみ

コーヒーとの出会いは、70年代のアフリカ。ケニア山麓、キリマンジャロ山麓と産地で暮らし、人々とコーヒーのつながりを見てきました。衝撃的だったのはエチオピア。野生のコーヒーが育つ森があり、コーヒーを楽しむ暮らしや文化がある。これを伝えることが、私の使命！と思いました。



## BAHAR DAR

### BONGA → JIMMA → BAHAR DAR

国内最大のタナ湖には、30もの伝説に彩られるミステリアスな島々が浮かんでいます。コーヒー伝説の舞台という説もあるウラ・キダネ・ミレット修道院と半島に残る原種コーヒーの森へご案内！

#### 白鳥 清志

アフリカの農業・農村開発に従事して30年。現在、エチオピアでイネ研究所を支援する事業に従事中。タンザニアやエチオピアでコーヒー農家の暮らしを垣間見てきました。現地では、カフェで同僚とのコーヒー休憩が日課です。



”コーヒーのあるところ、平和と繁栄あり Mama Jabana abate naga hadabatu”

オロモ民族の格言より

出典：原木のある森コーヒーのはじまりの物語エチオピアコーヒー伝説/アフリカ理解プロジェクト刊

アフリカ理解プロジェクト